



第173号

まつの社協だより

令和6年8月発行

編集・発行
社会福祉法人
松野町社会福祉協議会

〒798-2101
北宇和郡松野町大字松丸1661-13
TEL (0895) 42-0794
FAX (0895) 20-5311



松野町の「これから」を考える!



松野中学校 福祉学習

松野中学校2年生のみなさんと、福祉ボランティアグループのみなさんとで福祉学習をしました。

松野町の良いところや課題について、それぞれの視点から意見交換し、共に地域で暮らすために、どんな取り組みをしたらいいのかわ、自分ができることについて考えを深めました。

みんなが考えるまちづくりを、みんなでできたらいいですね。



教えて、暑がい先生! 夏バテ? 熱中症?

暑さで体調を崩しやすい夏。体の不調に「夏バテ」と「熱中症」がありますが、どんな症状がありますか?

生徒

「夏バテ」は、夏の高温多湿の気候によって自律神経のバランスが乱れ、倦怠感や食欲不振など体の不調が現れます。

一方、「熱中症」は、暑さによる体温の上昇や発汗による脱水症状によって、めまい、吐き気、意識障害、高体温などが起こり、早急に医療機関への受診が必要となる場合があります。

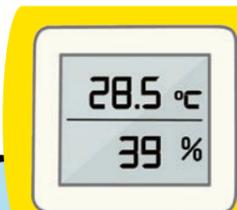
日のあたらない屋内でも発症します。

暑がい先生

暑さの感じ方は人それぞれですが、暑さ対策はどうしたらいいですか?

生徒

暑さ指数が表示される「**温湿度計**」をお部屋に置いて目で確認し、暑さ対策を行うことをおすすめしますよ!



暑がい先生

「熱中症警戒アラート」をご存じですか?

熱中症警戒アラートが発表されている日は、室内等のエアコン等により涼しい環境にて過ごし、こまめな休憩や水分補給・塩分補給をしましょう。高齢者、乳幼児等の方は熱中症にかかりやすいので特に注意し、周囲の方も声がけをしましょう。





まちおこプロジェクト 中学校×地域活動

松野中学校生徒会では、地域との交流を通して地域を活性化したいという思いのもと、「まちおこプロジェクト」に取り組まれています。

今回は、救急救命法講習会で、日本赤十字社愛媛県支部救急法指導員より、心肺蘇生法やAEDの使い方などについて、地域の方々も一緒に学びました。

地域の人と中学生と、交流しながら学び、知識と技術に勇気が加わりました。



日本赤十字 手つなぎボランティア 松野東小学校



松野東小学校にて日赤奉仕団のみなさんと東小全校児童のみなさんとで、手つなぎボランティアが開催されました。

『気づき・考え・行動する』青少年の活動理念のもと、児童主催のレクリエーションで交流を深め、その後奉仕団の方から花の苗植えのコツを聞きながら、一緒に花を植えました。児童からは「植え方を教えてもらえてよかったです。これから水やり頑張ります。」「奉仕団の方と仲良くなれて、色々なお話を聞けてよかったです。」と嬉しい感想を聞くことができました。



～赤十字募金へのご協力お礼と中間実績報告～



みなさまからお預かりした募金は全額を「日本赤十字愛媛支部」へ送金し、国内災害救護活動や海外支援のほか、地域（松野町）へ還元され、様々な活動に活用されています。現時点でみなさまから 537,321 円お預かりし、日本赤十字愛媛支部へ送金いたしました。心より感謝申し上げます。今後とも赤十字活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

転ばないための体力づくり教室



松野町老人クラブでは、会員の体力などの維持向上を目的とした体力づくり支援事業を、5～12月の間で計6回行っています。

1回目は、約40名の会員が体力測定を行いました。参加者からは「思ったより体が重い」「次の測定ではもっと数を増やしちゃう」など、意欲を燃やしていました。

2回目は、講師の方の指導により、椅子を利用した柔軟性と筋力向上のトレーニングを行いました。水分補給時には講師の方から、熱中症対策にも役立つ、経口補水液を自分でつくる方法を教えていただきました。

最終回まで継続して体力トレーニングを行い、1回目より良い数値が出るように頑張っていきましょう！



10周年おめでとうございます！

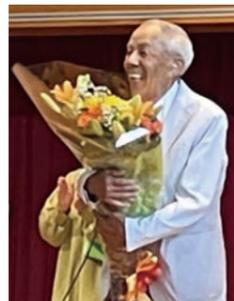
歌う森のふくろう10周年記念コンサート

コーラスグループ「歌う森のふくろう」は、童謡唱歌や懐かしい歌を楽しみながら、健康づくりや生きがいづくりとしての活動をされています。

今年は、グループ創立から10年の節目の年となるため、記念コンサートが開催されました。コンサートでは、イベント等で親交のある町外のコーラスグループの方々や、10周年を祝福してかけつけた来場者の方々と、歌うことを存分に楽しめました。

歌うことは、ストレス解消、認知症予防、免疫力の向上など、心と体を元気にする効果があるといわれています。

「歌う森のふくろう」は、一緒に楽しく歌う会員募集中です。興味がある方は、お気軽に社協にお問い合わせ下さい。



歌う森のふくろう小林代表



【 共同募金配分金事業 】

○令和5年度の募金実績

一般募金 690,669円 歳末たすけあい 281,200円

○皆様からの温かい募金を財源に、下記のとおり活用させて頂きました。総事業費 525,805円

- ・専門業者による遊具の点検。55,000円
- ・住民活動の活性化と健康づくりへの支援、中学卒業記念品、小学校入学記念、福祉ボランティアグループ、サロン活動における助成。470,805円

○歳末たすけあい運動

- ・民生児童委員の協力により、町内外 186名を対象に、義援金を贈った。町内在住者の方は見守りを兼ねて訪問活動を実施。250,000円

【 まごころ銀行運営事業 】

・活用状況

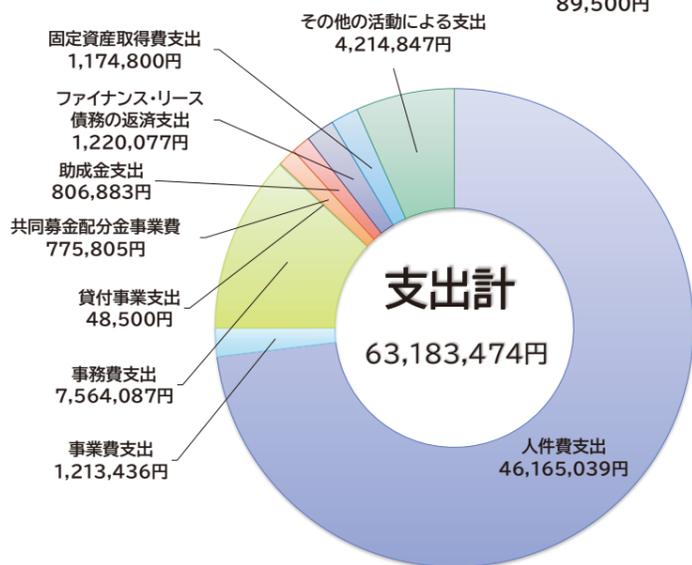
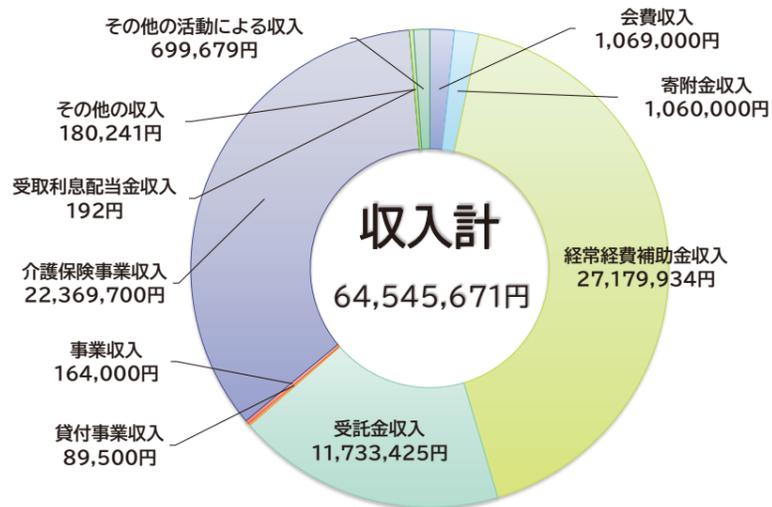
○町民の方の善意の寄付金を受付管理し、その健全な管理運営を行うとともに、地域福祉活動や介護保険事業などへの活用を図った。

・令和5年度の寄付受付状況

使途目的	件数	金額(円)	割合
地域福祉事業へ	11	280,000	26%
介護保険事業へ	8	200,000	19%
法人へ一任	22	550,000	52%
その他	1	30,000	3%
合計	42	1,060,000	100%

活用内容	対象	金額(円)
まごころ銀行助成金交付事業(公募)	歌う森のふくろう	40,803
	朗読ボランティア虹	40,000
	宇和島鉄道開通100周年記念事業実行委員会	200,000
地区福祉活動助成金	地区福祉活動助成金	300,000
結婚・出産祝い金	結婚・出産祝い金	105,280
指定寄付	1件(古城園)	30,000
本会の事業で活用	生活困窮者自立支援事業	205,000
	家計改善支援事業	97,000
	居宅介護支援事業	298,000
活用合計		1,316,083

【 収支決算 】



収支差額
1,362,197円

詳しい内容はホームページに掲載いたします。

<http://matsuno-syakyo.or.jp/>



事業報告 決算報告

令和5年度の事業報告ならびに収支決算について、主な内容を報告します。

【 法人運営事業 】

- 会議・各種大会の開催 理事会・評議員会 福祉のつどい
- 社協会員募集結果 総件数 1,039件 会費金額 1,069,000円
- 松野町老人クラブ連合会・身体障害者福祉協議会・遺族会の事務局として支援
- 日赤奉仕団の支援(会議・ボランティア等の支援) 母子寡婦福祉協議会(事業費支援)
- 日本赤十字社募金 社資募金協力実績 572,500円

【 地域福祉推進事業 】

- 第2期地域福祉活動計画の推進
現在取り組んでいる地域活動や地域のつながりを再認識し、日頃の活動と災害時の備えとのつながりについて考え、今後の活動をさらに広げていくために協議をした。
- ボランティア活動の推進・支援
松野町福祉ボランティアグループや日赤奉仕団と協働して、「防災・減災イベント」の開催、通学路の清掃、子育て世帯への支援、広報誌の音訳、読み聞かせ等のボランティア活動を支援した。
- 福祉教育の取り組み
ふだんの暮らしをしあわせにするという視点で福祉を身近に感じ、みんなが必要なことや出来る事を考えるきっかけづくりとして、学校等と協働し取り組んだ。
- 生活支援体制整備事業
住民の健康づくり、地域の見守りネットワークづくりのため、理学療法士、地域おこし協力隊と連携し作った「未来筋筋体操」の動画を作り、サロンや老人クラブ等の集まりで周知した。
- 生活困窮者自立支援・家計改善支援事業
県からの受託により「くらしの相談支援室」を開設。多様で複合的な課題の解決に向け、総合的な相談を受け付けるとともに、家計相談支援事業も実施した。年間相談件数 263回
- ふれあい・いきいきサロンの支援(町内11グループ)
地域で孤立する人をなくすため、高齢者や障害者、子育て中の親子などが、気軽に集い、地域の人々とのふれあいの場として、また情報交換の拠点として、楽しく参加しやすい活動を地域住民が運営できるよう支援し、心身の健康を保ち、生きがいづくりを推進した。
- 生きがい活動支援通所事業の実施
在宅で生活する65歳以上の高齢者を対象に、班ごとに月1回程度の寄り合いを持ち、要介護状態への予防を図れるよう、自立的生活と生きがいや社会参加を促進できるよう、健康講座や趣味の創作活動を支援した。
- 心配ごと相談事業 実施回数 年間12回(内、弁護士相談3回/年) 年間相談件数 8件
- 福祉サービス利用援助事業・法人成年後見人
判断能力に不安、または不十分な方であっても福祉サービスの利用が適切に利用できるよう援助し、成年後見制度利用促進事業により、宇和島地域(1市3町)による権利擁護センター・自治体・社協と連携し支援を行った。
- 生活福祉資金貸付事業(県社協受託) 貸付実績 2件 134,000円
- 小口資金貸付事業 貸付実績 8件 286,000円(令和5年度末貸付総額)
- 訪問型サービス事業
町内に在住する要支援者1,2の方を対象として、利用者が要介護状態となる事の予防、要介護状態の軽減または悪化を防止し、住み慣れた自宅で自立した日常生活を営むために、掃除や調理、ゴミ出しなどの軽微な家事援助など、松野町事業実施要綱に基づき、生活援助に限定したサービスを実施した。

【 在宅福祉サービスの推進事業 ～介護保険事業～ 】

- 居宅介護支援事業
ケアプランの作成や相談支援活動を行い、24時間連絡相談体制を整備するなど、利用者が健全で安らかな在宅生活を送れるよう、また、家族の介護負担の軽減を図れるよう努めた。また、対象世帯の抱える課題を解決するため、地域、施設等をつなぐパイプ役として、地域包括支援センター、医師、民生委員、本会の地域福祉部門等との連携により、地域福祉の向上に努めた。